

すもとがわ たけのくちうら
洲本川と 炬口浦

所在地：洲本市 炬口



「洲本川」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

洲本川は、生業や生活を支える水を提供してきました。洲本に城下町がしかれた時代には、鍛冶や藍染に用いる水として、また、明治以降に紡績業が盛んになった時代にはその工業用水を提供する川として地域の産業を支えてきました。

その一方で、洲本川水系は大規模な洪水が頻繁におこる地域であったため、河川改修などが行われ現在の形状となっています。

洲本川の河口にある炬口浦は、大阪湾からの玄関口として東浦にならぶ交通拠点でした。炬口港へ出入する船の夜間の目印としてたいまつを焚いたことが、地名の由来ではないかと伝えられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号を東へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

やなぎがくえん こぶん
柳学園の古墳

所在地：洲本市 下加茂



古墳庭園 出典：学校法人柳学園高等学校HP

洲本市下加茂の丘陵上にある私立柳学園の敷地内には、約 1400 年前に造られた下加茂岡古墳があります。直径 10m、高さ 2m の円墳で、洲本川流域の有力者の墓と考えられています。古墳の棺は緑色片岩という石を組み合わせた箱型の石棺で、この石は淡路島には無く、紀ノ川（和歌山県）から運んできたと考えられています。

下加茂岡古墳は平成 10 年に洲本市教育委員会による発掘調査が行われ、平成 12 年に柳学園が復元と整備、周辺の庭園化を行い「古墳庭園」と名付けられました。現在は貴重な資料として、また学園内の憩いの場として活用されています。同学園敷地内には弥生式住居跡も発見されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC を下車し、県道 125 号線から県道 46 号線へ。車で約 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

しゅんようそう
春陽荘

所在地：洲本市 宇山



春陽荘の母屋と門塀 出典：淡路島まるごとミュージアムHP

春陽荘は、昭和 16 年に家相方位学の権威である山本豊圓氏が設計し、施工は地元の大工棟梁斉藤三吉の手により建てられました。約 1,400 m²の敷地に八棟が建てられており、平成 16 年に国登録有形文化財に指定されています。

建物も素晴らしいですが、建築家の出江寛氏により設計された塀と門扉も母屋等と調和し素晴らしい建築景観をつくりだしています。特に、デザイン性に富んだ石造りの戸当りは見所です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC を下車し、国道 28 号を東へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

みくまやま なが
三熊山から眺めるサントピアマリーナ

所在地：洲本市 小路谷



淡路島の海、山並とサントピアマリーナ



サントピアマリーナから望む三熊山



古茂江海岸地区の町並み

三熊山駐車場から望む、大阪湾、淡路島の山並みとサントピアマリーナへの眺望は、洲本市八景に選定されている淡路島を代表する景観です。

サントピアマリーナは、三熊山を背景に大阪湾に面するヨットハーバーを中心とした約600mの人工運河です。運河周辺には、プール、テニスコート、リゾートマンションなどがあり、淡路島の観光拠点でもあります。

また、サントピアマリーナを含む古茂江海岸地区は、県景観条例で景観形成地区に指定されており、良好な環境を有する住宅地として景観形成が図られ、三熊山からの眺望が守られています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線を南下し、三熊山ドライブウェイを山頂方面へ、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

こもえかいがんちくじゅうたくがいとうけいかんけいせいちく
古茂江海岸地区住宅街等景観形成地区



所在地：洲本市 小路谷



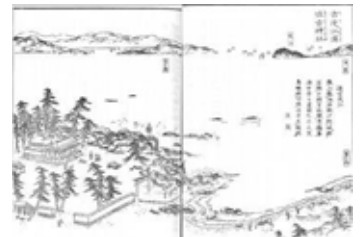
古茂江港



古茂江海岸地区の町並み



古茂江海岸 四州園 絵葉書
 提供：絵葉書資料館



古茂江海岸 出典：淡路国名所図絵

古茂江海岸地区は、三熊山の南東の麓の海岸線に沿った一帯に位置し、背後に緑、前面に海というとりわけ自然環境に恵まれたところです。

また、この地区は洲本市制 30 周年記念事業として建設された古茂江港を中心とした埋立地と県道洲本灘賀集線沿いに立地するホテルを中心とした温泉旅館街からなっています。

特に埋立地は、マリーナや運河を中心にホテルやマンション、別荘などが立地し、淡路島のリゾート地の先導的なモデルとなってきました。平成 4 年には、兵庫県の景観形成地区に指定され、良好な都市景観の形成が図られています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号線を東に進み、県道 76 号線を南下、車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

きんてんかく
金天閣

所在地：洲本市 山手



金天閣

金天閣は、寛永 18 年（1641 年）に阿波藩主蜂須賀至鎮（はちすかよししげ）が三熊山北麓の洲本城内に建てたと伝えられています。江戸時代初期の書院造の貴重な一例です。現在は、洲本八幡神社境内にあります。

明治時代以降の数度にわたる移築のなかで、改変された跡もみられますが、内部はほぼ当初のまま残されています。床、脇床、書院構、納戸構を備え、黒漆喰の折上げ格天井に金箔が貼られていることから金天閣と呼ばれています。納戸構に打たれた蜂須賀家紋入りの飾り金具や欄間の意匠彫刻は、江戸時代初期の特徴をよく示しており、県内に残る数少ない殿舎建築です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を東へ。塩屋交差点を右折して県道 76 号線に入り、栄町二丁目交差点を左折、栄町二丁目東交差点を右折して南に進む。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

じょうかまち ふせい のこ まちな
城下町の風情を残す町並み

所在地：洲本市 本町



洲本城址と市街地の町並み

1631年から約10年をかけて、蜂須賀氏が本拠地を由良から洲本に移す「由良引け」以降、洲本は洲本城の城下町として栄えました。その土地利用は、洲本城の北西側に社寺を配置するなど典型的な城下町となっています。

現在の洲本市街地は、紡績工業の発展によりその町並みを大きく変えていきますが、通りや地割りは城下町の赴きを残している箇所があります。通りの角に立つ町家や寺町、城下町の内町と外町を分けていた堀を埋めた弁天通など、城下町の風情を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

すもとはちまんじんじゃ
洲本八幡神社 きよぼく
巨木

所在地：洲本市 山手



「洲本八幡神社と巨木」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淳仁天皇のご創祀と伝わる洲本八幡神社は、淡路州神と称えられ、江戸時代には徳島藩主蜂須賀氏、洲本城代稲田氏の祈願所として淡路の国の安寧が祈られました。洲本の氏神として、開運導きの神、災い除けの神として特に信仰を集めています。また、境内には大阪中座にお祀りされていた柴右衛門大明神の社と金天閣があります。

ご神木である境内の大楠は、随神門横の幹廻り6.7メートル、兵庫県第4位の巨木で、健康長寿の信仰を受けています。また、ご本殿裏の大楠は兵庫県第7位の巨木です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

すもと あわじ はってん そ きず いわたやすろうぞう
 洲本、淡路の発展の祖を築いた岩田康郎像

所在地：洲本市 海岸通



岩田康郎像と洲本城址

現在、洲本市の中心を流れている洲本川は、かつては南に蛇行し、氾濫すると市街地に大きな被害をもたらしていました。この洲本川の氾濫防止と新たなまちの区画整理等を目的として、旧五色町鮎原の出身で当時の洲本町長であった岩田康郎氏が、明治 37 年（1904）に洲本川の付け替え工事を実行しました。付け替えによって埋め立てられた土地には、カネボウの工場を誘致し、社宅も含め企業城下町が形成され、後のまちの発展に大きく寄与しました。

洲本バスセンターの交差点に建てられた“洲本近代化の父”岩田氏の銅像は、今日も洲本のまちを見守っています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5千分の 1 地形図

あわじぶんかしりょうかん 淡路文化史料館

所在地：洲本市 山手



淡路文化資料館と洲本城址

淡路文化史料館は淡路島の歴史と文化を一堂に集めた博物館で、昭和 57 年に開館しました。江戸時代のはじめに築かれた洲本城跡（平城）にあり、背後には緑したたる山、前面には城の石垣と堀のある閑静な雰囲気の中に建っています。

展示資料には考古・歴史資料のほか、国指定重要無形民俗文化財である淡路人形浄瑠璃や、淡路島に関連する美術工芸品や文芸作品などがあります。南画家・直原玉青氏の作品や禅と俳句関係のコレクションを展示する直原玉青記念美術館も併設されています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

すもとじょうしくわしまてい すもとじょうしきゅうつだてい ていえん
洲本城址桑島邸や洲本城址旧津田邸の庭園



所在地：洲本市 山手

洲本城の城下町には、蜂須賀氏の配下であった洲本城代稲田氏の重臣の屋敷など、武家屋敷が軒を並べていました。

桑島邸や旧津田邸に代表される、稲田氏配下の武士が屋敷内につくった庭園が現在も残っています。桑島邸、旧津田邸の庭園ともに、江戸時代の作庭であるといわれています。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- ✓ 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

さかえまち ちく
栄町地区てらまち
寺町のまちなみ

所在地：洲本市 栄町



寺町のまちなみ（南向き）

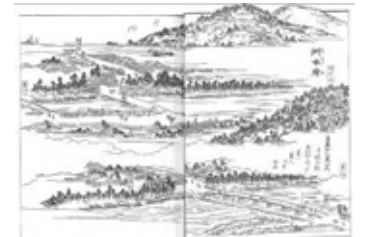


寺町のまちなみ（北向き）



江國寺

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



淡路國名所絵図「洲本府」

洲本市栄町の寺町界隈は、江國寺、専称寺など多数の寺院が軒を並べています。

江國寺は、江戸時代、藩主蜂須賀家の筆頭家老であった稲田家の菩提寺です。稲田家は、蜂須賀家の草創期から仕え、阿波と淡路に併せて約一万五千石という大名並みの石高を有したほどの家格でした。しかしながら、明治2年（1870）に稲田家と阿波藩の間で起きた「庚午事変」によって、多くの人命が失われました。江國寺門前には、稲田家家臣の霊を慰める招魂碑が建てられ、本堂裏には、稲田家代々や家臣の墓があります。

洲本市の中心市街地にありながら、城下町の町並みや江戸時代から明治時代にかけての歴史を感じることができる通りです。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から、国道 28 号、県道 76 号線を南下。車で 15 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

いなだそうどう ひ こうこくじ 稲田騒動の碑（江国寺）

所在地：洲本市 栄町



江国寺 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

江国寺は、江戸時代に淡路島を統治していた蜂須賀家の家老・稲田家の菩提寺です。境内には1870年の稲田騒動（庚午事変）の犠牲者を祀った招魂碑が建てられています。

稲田騒動は、版籍奉還に伴い藩士の間起こった騒動で、事件後、稲田家家臣は北海道の旧静内町（現新ひだか町）に送られ、苦難の生活を送りました。

現在、洲本市・南あわじ市と旧静内町（現新ひだか町）は姉妹提携を結んでいます。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、国道28号を東へ。塩屋交差点を右折して県道76号線に入り、栄町二丁目交差点を右折。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ちくさちく 千草地区のホルトノキ

所在地：洲本市 千草



千草地区のホルトノキ 出典：一般社団法人兵庫県治山林道協会 HP

千草地区のホルトノキは、山の神さんの側にある幹周り 482 cm の巨木です。

「ひょうごの巨樹・巨木 100 選」の第 70 選にも選ばれており、「山の神さんの木」との愛称のもと、千草地区のランドマークとして地域の方に大切に守り育てられています。

ホルトノキの根元には、立派な板根が発達しており、堂々とした姿を誇っています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を東へ。塩屋交差点を右折して県道 76 号線に入り、県道 473 号線、県道 481 号線を南に進む。車で約 35 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

しみん もり みやたき市民の森

所在地：洲本市 千草戊



宮滝 出典：淡路島観光圏協議会「淡路島観光ガイドスタッフブログ」HP

みやたき市民の森は、洲本市内最高峰の柏原山のふもとに整備されています。県内の次世代に伝えていきたい森林として、ひょうごの森百選に選ばれています。

ハイキングコースとして整備された道を 10 分程度登ると宮滝が現れます。宮滝からは柏原山への登山道もあります。みやたき市民の森は、森林浴や紅葉など、柏原山の自然を満喫できる場所として地域の方に親しまれています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道 28 号、県道 473 号線、県道 481 号線へ。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

かしわらやましんりんこうえん 柏原山森林公園

所在地：洲本市 柏原山千草



柏原山森林公園から洲本市市街地を望む



柏原山森林公園から沼島を望む



柏原山森林公園から友ヶ島を望む



柏原山森林公園 案内板

柏原山は、標高 569m の淡路島で 2 番目に高い山です。諭鶴羽山と先山とともに、淡路三山の 1 つに選ばれています。

柏原山には、島内外の方が柏原山の豊かな自然環境に気軽にふれていただけるよう森林公園として整備されています。園内には、展望台までの遊歩道などが整備されており、展望台からは瀬戸内海、紀伊水道、太平洋、そして四国山脈の雄大な眺望を楽しむことができます。

また、展望台からの眺望は、洲本八景にも選ばれています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

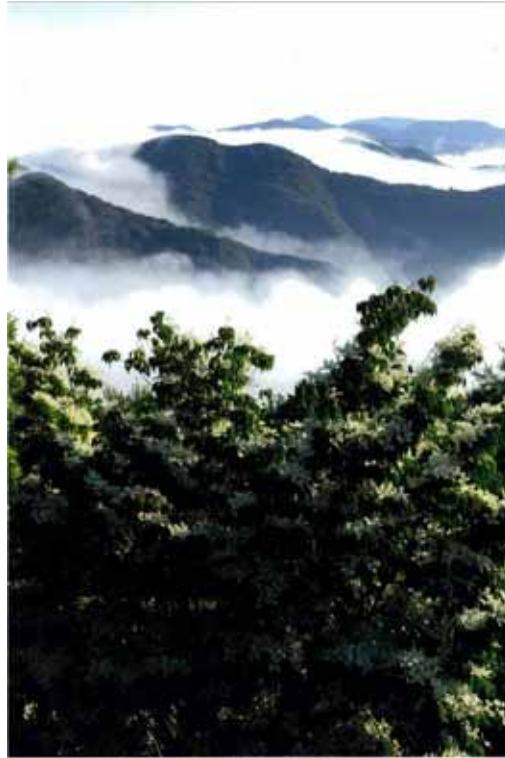
神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を東へ。塩屋交差点を右折して県道 76 号線に入り、県道 473 号線、県道 481 号線を南に進む。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

かしわらやま ちょうぼう
柏原山からの眺望

所在地：洲本市 柏原山千草



「ヤマボウシ咲く」淡路市 山本喜一撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 優秀賞受賞作品）

柏原山は、淡路島で2番目に高い山（標高569m）であり、諭鶴羽山、先山とともに「淡路三山」の一峰をなしています。

山頂にある展望台からは、四国から紀伊半島、瀬戸内海を見渡すことができ、晴れていれば神戸や大阪の町並みも望むことができます。

また、1990年に環境省（当時の環境庁）が主催した全国星空コンテストの写真測定部門で第2位に選ばれるほど美しい星空を眺めることができます。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観
歴史がつくりだす景観
生活・文化がつくりだす景観
新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、国道28号を東へ。塩屋交差点を右折して県道76号線に入り、県道473号線、県道481号線を南に進む。車で約1時間10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ちくさちく のうそんけいかん
千草地区の農村景観

所在地：洲本市 千草



「朝靄」洲本市 谷晴加氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

洲本市千草地区は、柏原山の西側に位置し、千草川を中心に田畑が広がる中山間地となっています。千草地区では、中山間地の農村景観を活かした田園居住と森林保全につとめ、魅力ある交流空間づくりに取り組んでいます。

【景観の特徴】

自然が作りだす景観

歴史が作りだす景観

✓ 生活・文化が作りだす景観

新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道473号線、県道481号線へ。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

たけはら さくら 竹原ダムの桜

所在地：洲本市 千草



ダム堰堤と桜 出典：あわじ花山水HP

竹原ダムは、柏原山のふもとにあります。昭和 35 年に、竹原川の上流 3 km 地点、標高 74m を堰きとめ建設に着工し、昭和 38 年完成後、上水に貢献しています。

竹原ダムへ続く道路約 1 キロに渡り、桜並木が続いています。桜が満開になる春には、風光明媚な山里の中で、ダムの水面に映る新緑と桜の眺めは格別です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道 28 号、県道 473 号線、県道 481 号線へ。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ちくさちく ひきょう えん
千草地区 秘境のアジサイ園

所在地：洲本市 千草



ダム堰堤と桜 出典：あわじ花山水HP

竹原ダムの奥にあるアジサイ園「あわじ花山水」は、淡路島の花の見どころとして紹介されているあわじ花へんろ第四十四番の札所に指定されています。

あわじ花山水では、「源流の里」と呼ばれる竹原の山里の中で、約5千㎡の敷地に四季折々の草花が栽培され、4月の桜、6月のアジサイ、11月のコスモスや紅葉などを楽しむことができます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道473号線、県道481号線へ。車で約1時間。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ちくさちく だいやま 千草地区の台山

所在地：洲本市 千草



「若葉に覆われた台山」洲本市 東原正己氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

千草地区には、戦国時代に安宅氏の山城（猪鼻城）があったとされる台山が、上田原大池の側にあります。

千草地区の戦国時代の歴史と、今も地区に残る緑の台山が一体となった景観です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道473号線、県道481号線へ。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

しもないぜん ち く ひおど
 下内膳地区の火踊り

所在地：洲本市 下内膳



「火踊り」南あわじ市 井上淳一氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

火踊りは、毎年、8月16日に行われるお盆の送り火で、鎌倉時代から続くと言われている、全国的にもあまり例のない珍しい伝統行事です。

下内膳地区では、墓石のある参り墓と遺体を埋葬する捨て墓の「両墓制」が古くから受け継がれてきました。火踊りは、捨て墓で行われます。

火踊りでは、2mほどの荒縄に取り付けた松明を十数人の男性が数十分間、勇壮に振り回します。松明で埋葬した場所を明るく示すことで、先祖の霊を送り出せるといわれています。松明は、火勢が弱まると丘の斜面に放り投げられ、炎は捨て墓を包むように広がります。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、県道469号線、県道474号線へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ぶんがく もり あわじ ぶんがく うた く
文学の森（淡路の文学・歌・句）



所在地：洲本市 宇原



文学の森

文学の森は、洲本市宇原在住の医師がつくったもので、俳句や和歌を刻んだ石碑が並べられていることから「文学の森」と呼ばれています。

文学の森には、淡路島出身の女流歌人で、NHKの銀河テレビドラマ「淡路島の歌碑」「千鳥」で全国的に有名になった川端千枝をはじめ、有名無名の人々の歌碑、句碑、詩碑、哲学碑、雑俳、川柳碑、彫刻など約116基が建立され、変化に富んだ趣をかもし出しています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号の宇原交差点を右折、県道473号線へ。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

てんねん りょうこう
天然の良港ゆらちく まちな
由良地区の町並み

所在地：洲本市 由良



「漁師町」洲本市 川添卓也氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト応募作品）



由良地区の町並み



由良地区内の船着場

大阪湾や瀬戸内の要衝である由良は、慶長18年（1613）に池田忠雄の成山城築城を始まりに、城下町として栄えました。しかし寛永8年（1631）からの「由良引け」（由良城から洲本城への、城下町ごとの大移転）により、城下町としてはさびれていきました。

その一方で、参勤交代の際の寄港地として発展し、江戸時代には新川口と今川口の2つの港口が造られました。今川口は藩主蜂須賀公の御座船を通すために拡張され、現在の由良港の姿になりました。由良港は、好漁場である紀淡海峡に面し、成ヶ島が長大な防波堤の役割を果たす天然の良港として、兵庫県内有数の漁獲高を誇り、特にウニ、アワビ、ハモなどが有名です。

港の背後には由良の集落が控え、瓦屋根と路地の町並みに、今も変わらぬ漁師町の景観を見ることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路自動車道洲本ICから国道28号、県道76号を南下。車で30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

はただぐみちく 畑田組地区

しゅうらくない とお 集落内の通り

所在地：洲本市 畑田組



集落入口の通り



集落内の通り



淡路瓦を利用した塀

畑田組地区は、紀伊水道に面する集落です。

集落内では、果樹園等の開墾の際にでた石を巧みに積み上げ、通りや塀が作られています。紀伊水道に面する淡路島の風土のなか、集落をつくりだしてきた独特な景観が広がっています。

その反面、過疎化が進み、集落内では空き家の増加、少子高齢化が進んでいます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 1 時間半。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

あいかわぐみ ちく
相川組地区すみよしじんじゃ なつまつ
住吉神社の夏祭り

所在地：洲本市 相川組



住吉神社



相川組地区の集落景観

洲本市相川組は、中津川組と畑田組とともに、源平の合戦に敗走した平家の落武者が住みついたことがはじまりといわれています。相川組の集落は、果樹園などの開墾で出た石を巧みに積み上げた小路があり、独特な景観をつくりだしていますが、過疎化が進み空き家が目立ちます。

相川組の集落奥には、住吉神社があります。境内石段の両側に石祠があり、平家の落武者に由来するものであると伝えられています。住吉神社の夏祭りでは、神輿を担ぎ海へ入っていくなど、個性豊かな伝統行事が行われています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図

ゆらちくのうそんけいかん
 由良地区の農村景観

所在地：洲本市 由良



「ひまわり」京都府京都市 奥田晃介氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

由良という地名は、日本の海岸部でよくみられます。由良地区も、紀伊水道と大阪湾に面した立地条件を活かし、江戸時代に蜂須賀氏が拠点由良から洲本へ移した「由良引け」まで、淡路島の拠点として栄えました。

由良地区は、紀伊水道と大阪湾へ柏原山がせり出す自然環境のなか、海と山が一体となった景観が広がる一方で、一步、地区内に踏み入ると柏原山の緑豊かな自然環境を活かした農村景観を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

たいじゅ もり やまじんじゃ
大樹の森、山神社

所在地：洲本市 由良



「巨木の森」淡路市 砂田安雄氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

山神社は、由良地区天川に鎮座する神社で、スダジイ、タブ、イヌマキ、クスなどの巨木の根元に数基の祠があります。高倉山の豊かな自然環境のなか、祠がある神聖な景観は県内でも稀にみる景観です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ゆらみなとじんじゃ
由良湊神社

所在地：洲本市 由良



由良湊神社 出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

由良湊神社は、「延喜式神名帳」にも記された由緒ある神社です。

由良湊神社は、由良地区で暮らしていた淡路海人によって、由良水門の鎮護として祀られたものと思われます。速秋津日古神（はやあきつひこのかみ）、速秋津比売神（はやあきつひめのかみ）、品陀別尊（ほんだわけのみこと）の3神が祀られています。

また、由良湊神社は、あわじ花へんろの第55札所に選ばれており、四月にはオオシマザクラとソメイヨシノ、十月にはサザンカが咲き乱れます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

かみなだ なかつがわちく ゆらちく つづ かいがんせん
 上灘・中津川地区から由良地区に続くダイナミックな海岸線



所在地：洲本市 上灘



「ふるさとの海 - 母から子へ」淡路市 日野真紀氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

上灘、中津川地区から由良地区へ、県道 76 号線をドライブすると柏原山が紀伊水道、大阪湾へせり出す、海と山が一体となった淡路島らしい景観を望むことができます。

特に、由良生石地区からは、高倉山、成ヶ島、瀬戸内海の自然環境を一望できるとともに、淡路島の海運の拠点である由良地区も営みも感じることができます。

- 【景観の特徴】 ✓ 自然がつくりだす景観
 歴史がつくりだす景観
 生活・文化がつくりだす景観
 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

なかつがわぐみちく しゅうらくない とお
中津川組地区の集落内の通り

所在地：洲本市 中津川組



中津川組 集落内の民家



中津川組 集落



集落内の通り

洲本市中津川組は、相川組と畑田組とともに、源平の合戦に敗走した平家の落武者が住みついたことがはじまりといわれています。

集落内では、果樹園等の開墾の際にでた石を巧みに積み上げ、通りや塀が作られています。紀伊水道に面する淡路島の風土のなか、集落をつくりだしてきた独特な景観が広がっています。

その反面、過疎化が進み、集落内では空き家の増加、少子高齢化が進んでいます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 76 号線へ。車で約 1 時間。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

みず たいしふきん かいがんせんび 水の大師付近の海岸線美

所在地：洲本市 中川原町厚浜



国道 28 号 水の大師付近から洲本方面を望む海岸美

水の大師は、弘法大師が海に貼り出た岩に彫ったとされる仏像です。弘法大師が、地に杖をついて水を湧かせたという伝説が伝わっています。この湧水は、阪神淡路大震災の影響で涸れてしまいましたが、かつては不治の病に効く霊水として遠方からも水を汲みにくる人が絶えませんでした。

また、水の大師から洲本方面へ望む海岸美は、洲本八景に選ばれています。現在も、国道 28 号からその海岸美を望むことができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作り出す景観
 - ✓ 歴史が作り出す景観
 - 生活・文化が作り出す景観
 - 新しく作り出す景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号を北上。
車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5 千分の 1 地形図

なかがわらちく でんえんけいかん
中川原地区の田園景観

所在地：洲本市 中川原町中川原



「すばらしき田園風景」 洲本市 富本千寿氏撮影（第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島は、「御食国（みけつくに）」と呼ばれ、古来より朝廷へ食物を納めるほど、第1産業が盛んな地域です。

中川原地区は、淡路島中央に位置する地区で、周囲を丘陵地に囲まれた盆地状の地形をしています。そのような自然環境のなか、中川原地区では、米づくりをはじめとした農業が現在も盛んに行われています。中川原地区では、地域の方に守り育てられた田園景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから県道125号線、県道46号線、県道469号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

れんげじ ごしきや えつばき
蓮花寺 五色八重椿

所在地：洲本市 安乎



蓮花寺 出典：兵庫県HP

蓮花寺は、鎌倉末期（1332年）、後宇多天皇の菩提を弔うため全国を行脚していた禅定律師が建立した寺院であり、淡路西国74番「五百羅漢」で親しまれています。

のどかな田園景観に囲まれた蓮花寺の境内、一本の木に五色のかれんな花を咲き分ける五色八重椿が見られます。このツバキは樹齢約400年とされ、樹高は約5mもあります。

ツバキのつややかな緑色の葉の合間に、白、紅、桃や白地に紅の縦絞りなど、八重の花が咲き競り、訪れる人を楽しませてくれます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、県道88号線から国道28号、県道469号線、県道468号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

れんげじ ごひゃくらかん
蓮花寺 五百羅漢

所在地：洲本市 安乎



蓮華寺 境内 出典：一般社団法人淡路島観光協会HP

蓮花寺は、淡路四国八十八ヶ所霊場第七十四番にも数えられる、真言宗の古刹です。鎌倉末期、後宇多天皇崩御の際にその菩提を弔って全国を行脚していた禅定律師が元弘2年（1332）に建立したもので、寺名も後宇多天皇ゆかりの京都・蓮花峰寺より名付けたと言われてています。

蓮花寺の代名詞ともなっている五百羅漢は、中興の祖 実如上人が在家に寄進を呼びかけて、十六羅漢を安置したのが始まりで、その後は四世実栄上人の四代に渡り 66年の歳月を経て安置され、その総数は約530体にも及びます。一体一表情が違うこの羅漢様の中から、今は亡き身内縁者に似た羅漢様を見だし語りかける事ができるといわれています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮IC下車、県道66号線を南下、県道468号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ちょうりんじ
長林寺

つか
遣いだんじりと七福神

しちふくじん

所在地：洲本市 五色町都志万歳



長林寺境内 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP



遣いだんじり 出典：洲本市 HP

長林寺は、天平9年(737)に僧行基がこの地に七堂伽藍を創建し、本尊である十一面観音菩薩像を安置したのがはじまりとされています。延喜元年(901)には、菅原道真が、九州に赴く際に詣に立ち寄ったとの記録があります。

長林寺では、毎年7月14日の十一面観音菩薩の縁日の夜、勇壮な「遣いだんじり」が境内を練り歩きます。「遣いだんじり」とは、二人の乗り子を乗せただんじりを縦横無尽にひっくり返しながら操り、様々な妙技を披露するもので、淡路島の個性豊かな伝統芸能を伝える行事として知られています。

また、長林寺には、淡路七福神霊場の一つとして福祿寿が祀られ、境内には淡路島特産のいぶし瓦でできた福祿寿像が参拝者を迎えています。

【景観の特徴】

- 自然がつくりだす景観
- ✓ 歴史がつくりだす景観
- ✓ 生活・文化がつくりだす景観
- 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線、県道31号線へ。県道31号線を南下し、車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ごしきちょうつしちくひろ たなだ
五色町都志地区に広がる棚田

所在地：洲本市 五色町都志



「都志のいいところ」洲本市 池内祥真氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島は、「御食国（みけつくに）」として古来より朝廷に食物を納めるほど第1次産業が盛んな地域であり、現在も米、玉ネギを主要作物とした農業が盛んです。

五色町都志地区は、地名の由来が「都を志した」という説もあり、淡路島西浦の「御食国」の拠点として昔より農業が盛んな地域です。現在も、淡路島の限られた土地利用のなか、地形の起伏を活かした棚田などで米づくりが行われており、豊かな農の景観が広がっています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから県道125号線、県道46号線、県道31号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ごしきちょう つしちく かいがんせん ふうしゃ
五色町都志地区の海岸線と風車

所在地：洲本市 五色町都志



「夕やけの海」洲本市 島田和昌氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

洲本市五色町では、「快適で住み良い環境の構築」に向けた取り組みを行っています。その一環として、平成13年9月に五色町が出資する第三セクター会社「クリーンエネルギー五色」を設立し、風力発電施設の整備に取り組んできました。

都志では、高さ100mの巨大風車一基が稼動しており、年間で約300万kWh（一般家庭約900世帯分の消費電力に相当）を発電しています。

海風を受けて回転する風車と都志の海岸線が一体となった眺めは、五色町都志地区の新しい景観となっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから県道125号線、県道46号線、県道31号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ごしきちょう つ し ち く すみよしじんじゃ
五色町都志地区の住吉神社

所在地：洲本市 五色町都志



「海と夕日」洲本市 坂本瑠南氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）



住吉神社

住吉神社は、海の神、航海の神である住吉三神が祀られています。五色町都志地区も、海岸沿いに住吉神社が鎮座し、地区の守り神として地域の方に大切に守り育てられています。

五色町都志地区では、住吉神社前から望む播磨灘へ沈む夕日は絶景で、地域の方だけでなく島内外から多くの方が夕景を楽しみに訪れます。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから県道125号線、県道46号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

かわいけいせき
川池井堰

所在地：洲本市 五色町都志大宮



川池井堰



川池井堰



川池井堰と都志川

川池井堰は、日露和平を導いた幕末の豪商高田屋嘉兵衛が築いた堰で、都志川の流れを止め用水の確保を目的としたものです。

高田屋嘉兵衛が、五色町都志地区の開発に力を注いだ最初の事業でした。川池井堰が完成し、用水の確保が容易になったことで、五色町都志地区の農業等の発展に大きく貢献した。

川池井堰は、昭和6年大干ばつがあった翌年に近代式のダムに改修されました。当時の赴きを残している堰下部の石組みは、今も水をがっしり受け止めています。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから県道125号線、県道46号線へ。車で約25分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ごしきちょうあいはらちく でんえんけいかん
五色町鮎原地区の田園景観

所在地：洲本市 五色町鮎原



「おばあちゃんの背中」三重県津市 政処裕介氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淡路島は、「御食国（みけつくに）」として古来より朝廷に食物を納めるほど第1次産業が盛んな地域であり、現在も米、玉ネギを主要作物とした農業が盛んです。

五色町鮎原地区は、淡路島の中央に位置し、丘陵地に囲まれた盆地のような地形のなか、米、玉ネギをはじめとした農業が盛んに行われています。五色町鮎原地区には、豊かな農の景観が広がっています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道66号線を南下。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

かわかみじんじゃ
河上神社

所在地：洲本市 五色町鮎原南谷



河上神社本殿と天然記念物イブキ

河上神社は、由緒ある延喜式内社で、祭神の河上大神は恵みをもたらす万物育成の神で、水を司る神でもあります。相殿の天満宮は、901年、菅原道真が筑紫に向かう途中に播磨灘で強風に遭い、河上神社にお参りしたのを由緒としており、「鮎原の天神さん」として地元で親しまれています。

毎年4月29日に行われる春祭りでは、10台の布団だんじりとだんじり唄が見どころで、多くの人が訪れます。

また、境内には県指定文化財・天然記念物の古びたイブキの巨木があり、社殿と一体となった素晴らしい景観をつくりだしています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道66号線を南下。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

しらす しろ もり
白巢お城の森

所在地：洲本市 五色町鮎原三野畑



白巢お城の森 出典：財団法人淡路島くにうみ協会 HP

「白巢お城の森」は、白巢山（標高約 330m）にある中世の山城、白巢城跡を中心とした森林公園です。

白巢城は 室町時代末期に安宅氏によって築かれたと云われ、天正 9 年（1581）の羽柴秀吉による淡路侵攻の際、落城したと伝えられていますが、資料が極めて乏しく、詳細は明かではありません。

麓から山頂まで白巢林道が通じており、山頂の城跡には本丸・二の丸・西の丸が尾根上に並び、綺麗に整備されて瀬戸内海・大阪湾を一望できる展望スポットとなっています。

また、山の麓には、ため池、田んぼ、コナラ林をはじめとする里山が広がっており、地域の子どものための教育の場としても利用されています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC から県道 88 号線、県道 66 号線へ。県道 66 号線の洲本市高齢者生きがい創造センター横を左折。車で 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

ごしきちょうあいはらかやのちくはしらまつさいとう
五色町鮎原栢野地区の柱松(柴燈)

所在地：洲本市 五色町鮎原栢野



「栢野の柱炬火」洲本市 山本雅宣氏撮影 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

五色町鮎原栢野地区で400年余り前から続いていると伝えられる「柱松の柴燈」は、日本に三カ所しか行われていないと言われる奇祭です。送り盆の行事として毎年8月16日の夜に行われます。

8月1日に出役の柴切り役数名が適当な大きさの木柴を切り、薬師堂の庭に運んで半月間乾かします。柴燈は1年間近くの池に浸しておいた丸木柱を芯に、柴とわらを巻きつけ、直径約2m、高さ約10m余りの柴燈を作り上げます。

これを梯子とつかい棒を使い立て、昼間にレンズを使い採火しておいた種火を、地蔵寺の僧侶が読経のあと、火付竿を使って柴燈の頂上に点火し、赤々と燃える炎と共に先祖の霊に祈りを捧げます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道66号線を南下。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ひろいしはちまんじんじゃ じみょうじ
広石八幡神社と持明寺

所在地：洲本市 五色町広石中



広石八幡神社



持明寺

淡路島の社寺仏閣の特徴は、神仏習合を基本として神社とお寺が隣接して建てられていることです。五色町広石地区も同様に、広石八幡神社と持明寺が寄り添うように建てられ、地区の信仰の対象として、現在も大切に守り育てられています。

【景観の特徴】

- 自然が作り出す景観
- ✓ 歴史が作り出す景観
- ✓ 生活・文化が作り出す景観
- 新しく作り出す景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、県道472号線、県道470号線を北上。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

さかいでら 境寺

所在地：洲本市 五色町広石下



境寺

境寺の境内には、銀杏の古木があり本堂とともに神聖な空間をつくりだしています。本尊の観音菩薩への信仰は厚く、地域の方に大切に守られてきました。

また、境寺には、「淡路草」、「味地草」に志知城主加藤左馬助（加藤嘉明）の令室が寄贈した古鏡が残っています。この鏡は、江戸時代から知られており、五色町広石地区の歴史を伝える貴重な文化財として市指定有形文化財に指定されています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、県道472号線、県道470号線を北上、県道66号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

みしまとくしちはかせ

三島徳七博士のモニュメント



所在地：洲本市 五色町広石下



三島徳七博士のモニュメント

三島徳七博士は、五色町広石地区出身の工学博士で、マグネットの三島として世界に知られ、20世紀の科学産業の進歩発展に、学術上の礎を築いた偉大な工学者です。

三島徳七博士の功績は、学士院恩賜賞、文化勲章、勲一等旭日大授賞をはじめ国内外から数多くの賞をもって讃えられております。

また、五色町広石地区では、三島博士顕彰会が博士の功績を語り継ぐための活動が行われているとともに、モニュメントが設置されています。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - ✓ 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - ✓ 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、県道472号線、県道470号線を北上、県道66号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

でんえんけいかん ひろいししょうがっこう
田園景観と広石小学校

所在地：洲本市 五色町広石下



田園景観と広石小学校

広石小学校は、五色町広石地区の中心にあり、田園景観と調和したモダンな校舎が特徴です。また、広石小学校では、昭和初期の小学校発祥の広石音頭を唄い踊り伝えています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、県道472号線、県道470号線を北上、県道66号線へ。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

とりかいはちまんぐう ふな

鳥飼八幡宮の舟だんじりとホルトノキ

所在地：洲本市 五色町鳥飼中



本殿 出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



ホルトノキ

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



舟だんじり

鳥飼八幡神社は、京都岩清水八幡宮の淡州別宮として名高い神社です。本殿は、慶長8年（1603）に再興された貴重な建築物として、県の文化財指定を受けています。また、参道入口には、幹周 4.1 mにも及ぶホルトノキの巨木があり、社殿と一体となり豊かな景観をつくりだしています。

鳥飼八幡神社では、毎年10月に豊作大漁を祈願し、秋の例大祭が行われます。200年近い伝統を持つこの祭りの見どころは、2台の舟だんじりが神社を出発し、浜までの2 kmを練り歩き神社に戻ってくるところ。特に、舟だんじりが神社の急な石段を上下する様は圧巻で、地域の方を含めた多くの観客も沸き立ちます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本IC下車、県道472号線を北西へ。車で約30分。



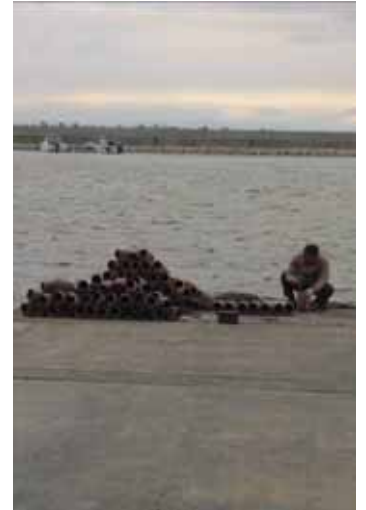
地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

ふなせぎょこう 船瀬漁港

所在地：洲本市 五色町鳥飼浦



船瀬漁港



船瀬漁港の漁師

船瀬漁港は、西浦の仏崎西側の入り江を利用した小さな漁港です。播磨灘と仏崎、石積みの突堤が一体となった美しい景観が広がる漁港として、浮世絵師の歌川広重が描いた「六十余列名称図会」や、五色町出身の作詞家で作家の阿久悠が原作を書き、映画化された「瀬戸内少年野球団」のロケ地にもなりました。

現在は護岸整備が進み、その景観も少しずつ失われつつありますが、淡路島の西浦を代表する漁港として地域の方に大切に守り育てられている景観です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、県道 472 号線を北西へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

さんぼういんまえ な はな さくら
三宝院前の菜の花、桜

所在地：洲本市 五色町下堺



みたから公園の桜と菜の花 出典：財団法人淡路島くにうみ協会HP

洲本市五色町では、春になると各所で桜や菜の花が楽しめます。

町内でも堺地区にある三宝院の「みたから公園」は、あわじ花へんろの花の札所第 50 番に指定された花の名所で、桜と菜の花が満開になる春には、淡路島の春の景観を満喫することができます。

また、堺川沿いに掲げられる鯉のぼりが、五色町堺地区の景観にアクセントを与え、見る人の心を癒してくれます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、県道 472 号線を北西へ。車で約 30 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

だいみょうじん おお クスノキ大明神の大クス

所在地：洲本市 鮎屋



クスノキ大明神の大クス 出典：一般社団法人兵庫県治山林道協会 HP

クスノキ大明神の大クスは、鮎屋集会所の脇にある幹周り 891 cm の大木です。

クスノキそのものがご神体として祭られており、根元付近には鳥居と小さな祠が建てられています。「ひょうごの巨樹・巨木100選」の第34選にも選ばれており、鮎屋地区のランドマークとして地域の方に大切に守り育てられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を南西へ。広田西交差点で左折して南へ。車で約 25 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図

だいじょういけ
大城池

所在地：洲本市 鮎屋



大城池

旧大野村は、淡路島でも特に水不足が深刻で、6 a 毎に井戸を掘り1日400回も水を汲み上げないといけなほどでした。

深刻な水不足を解消するため、大城池は大正12年から工事が始まり、昭和3年に完成しました。壮大で城郭の如く、また堅固、緻密という意から「大城池」と命名されました。堤高30.6m、堤長148.0m、貯水量104万7千トン、満水面積8.1haを誇る大城池は、当時としては一級の灌漑施設であり、水不足を解消し築いてきた豊かな暮らしを感じさせる景観です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号、県道473号線、県道534号線へ。車で約40分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図

あいやがわ ちょうぼう 鮎屋川ダムからの眺望

所在地：洲本市 鮎屋



鮎屋川ダムから望む 先山と鮎屋夢大橋



鮎屋川に渡る鮎屋夢大橋



鮎屋川ダム

鮎屋地区は、大城池の建設により一端は水不足を解消しましたが、新田の増加等により再び水不足に直面します。鮎屋川ダムは、水不足を解消するために昭和 44 年に完成したダムです。ダム建設自体は 3 年程度でありましたが、構想から完成まで約 30 年という長い年月を要しました。

鮎屋川ダム自体も、淡路島の水不足との戦いを感じさせる景観ですが、淡路島から鮎屋地区を望む景観は、鮎屋川と鮎屋夢大橋、田園、先山と鮎屋川ダムの水源に支えられ豊かに栄えてきた鮎屋地区の営みを感じることができます。

- 【景観の特徴】
- 自然が作り出す景観
 - 歴史が作り出す景観
 - ✓ 生活・文化が作り出す景観
 - 新しく作り出す景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 473 号線、県道 534 号線へ。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図